

多賀支所管内 学校基本情報

(多賀町、桜川町、末広町、大久保町、千石町、鮎川町、河原子町、東多賀町、国分町、諏訪町、東金沢町、金沢町、東大沼町、大沼町、森山町、水木町、中丸町、塙山町、台原町、みかの原町)

1 児童生徒数

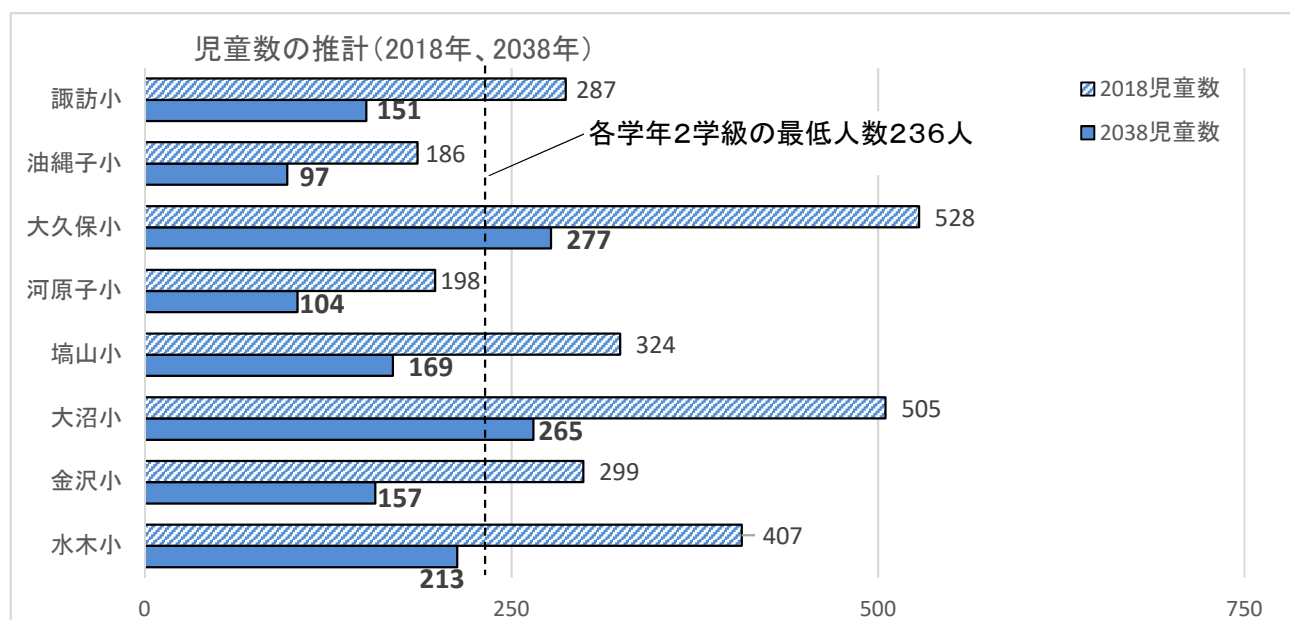
(1) 小学校児童数

ア 平成30年5月1日現在 (単位: 人)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	特支級	計
諏訪小	児童数	40	51	41	47	44	54	10	287
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
油縄子小	児童数	23	24	36	22	26	29	26	186
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
大久保小	児童数	85	76	90	70	84	92	31	528
	学級数	3	3	3	3	3	3		18
河原子小	児童数	29	21	39	29	29	36	15	198
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
塙山小	児童数	46	40	48	47	57	68	18	324
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
大沼小	児童数	79	73	80	77	75	88	33	505
	学級数	3	3	3	2	2	3		16
金沢小	児童数	37	40	40	45	52	55	30	299
	学級数	2	2	1	2	2	2		11
水木小	児童数	66	57	54	79	55	72	24	407
	学級数	2	2	2	2	2	3		13
計	児童数								2,734

イ 20年後推計 (単位: 人)

諏訪小	児童数	151	河原子小	児童数	104	金沢小	児童数	157
	学級数	6		学級数	6		学級数	6
油縄子小	児童数	97	塙山小	児童数	169	水木小	児童数	213
	学級数	6		学級数	6		学級数	8
大久保小	児童数	277	大沼小	児童数	265	計	児童数	1,433
	学級数	12		学級数	12			



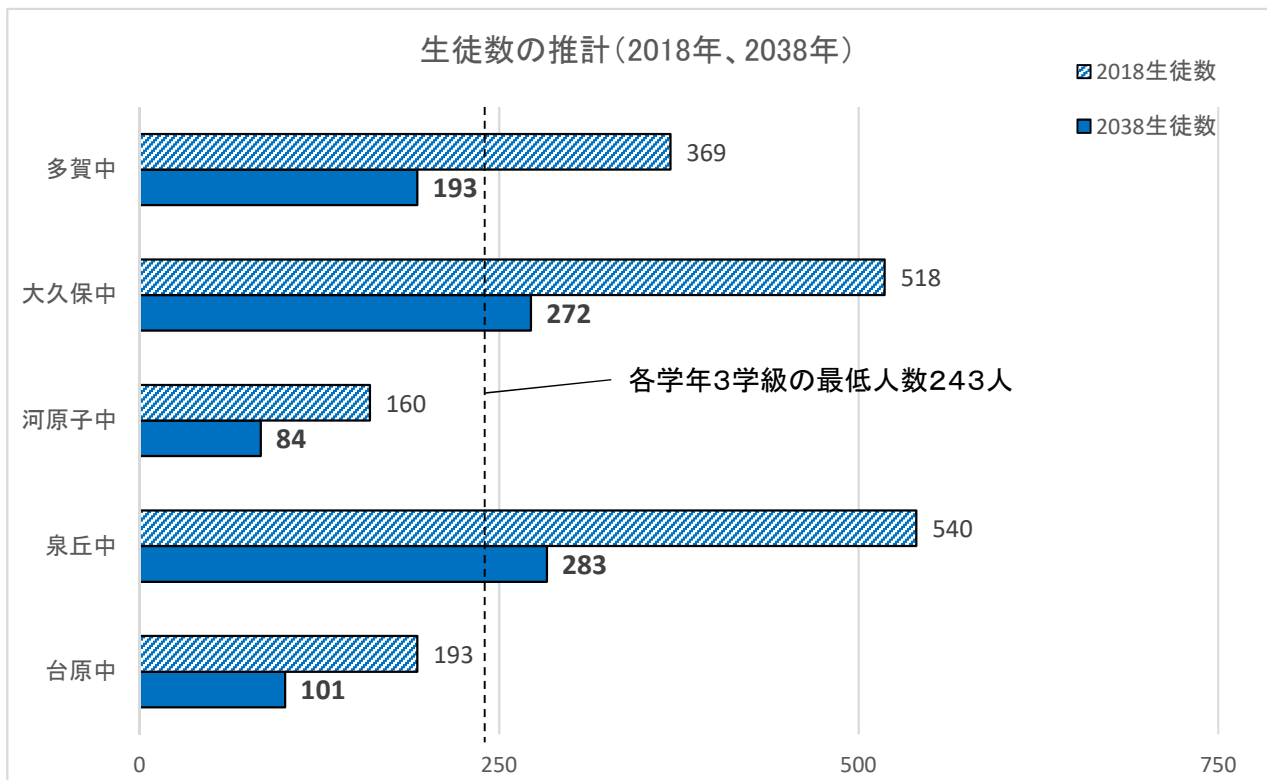
(2) 中学校生徒数

ア 平成30年5月1日現在（単位：人）

		1 学年	2 学年	3 学年	特支級	計
多賀中	生徒数	114	127	105	23	369
	学級数	4	4	3		11
大久保中	生徒数	162	150	186	20	518
	学級数	5	5	6		16
河原子中	生徒数	47	50	59	4	160
	学級数	2	2	2		6
泉丘中	生徒数	167	177	175	21	540
	学級数	5	5	5		15
台原中	生徒数	42	62	69	20	193
	学級数	2	2	2		6
計	生徒数					1,780

イ 20年後推計（単位：人）

多賀中	生徒数	193
	学級数	6
大久保中	生徒数	272
	学級数	9
河原子中	生徒数	84
	学級数	3
泉丘中	生徒数	283
	学級数	9
台原中	生徒数	101
	学級数	3
計	生徒数	933



2 通学

(1) 学区内の最長距離（単位：km）

	道のり	地点
諏訪小	2.7	A
油縄子小	1.4	B
大久保小	1.9	C
河原子小	1.4	D
塙山小	1.4	E
大沼小	1.5	F
金沢小	1.7	G
水木小	2.6	H

(2) 自転車通学

平成30年度	人数	要件
多賀中	0	許可していない
大久保中	0	許可していない
河原子中	0	許可していない
泉丘中	0	許可していない
台原中	0	許可していない

(3) 危険エリア

ア 津波ハザードマップ

イ 洪水ハザードマップ

ウ 土砂災害ハザードマップ

3 その他

(1) 小中学校の組み合わせ

	小学校
多賀中	成沢小 油縄子小 諏訪小
大久保中	諏訪小 大久保小 塙山小
河原子中	塙山小 大沼小 河原子小
泉丘中	大沼小 水木小 大みか小
台原中	塙山小 大沼小 水木小 金沢小

(2) 部活動（平成30年度）

	学級数	野球	サッカー	男子バスケ	女子バスケ	男子バレー	女子バレー	男子テニス	女子テニス	男子卓球	女子卓球	陸上部	新体操
多賀中	11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		18	56	19	23	21	20	22	25	15	15	13	
大久保中	16	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
		32	49	25	13		16	32	28	31	9	58	17
河原子中	6	○	●		○		○			○	○		
		12	18		13		13			25	14		
泉丘中	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
		37	45	23	18	41	26	49	48	30	42		17
台原中	6	●	○		○		○	○	○	○	○		
		7	19		14		14	31	17	18	8		
	学級数	男子柔道	女子柔道	男子剣道	女子剣道	吹奏楽	美術	パソコン	国際情報	文化	わくわく	校外活動	
多賀中	11	○	○	○	○	○	○						17部
		8	10	4	8	52	19						348人
大久保中	16	○	○	○	○	○	○		○			○	19部
		10	2	8	3	78	57		8			40	516人
河原子中	6			○	○	○	○			○			11部
				8	8	5	18			26			160人
泉丘中	15	○	○	○	○	○	○	○			○	○	20部
		3	6	12	16	47	38	11			7	18	534人
台原中	6	○	○	○	○	○	○						14部
		5	1	4	1	25	11						175人

上段：設置の有無（○は単独、●は3年生の引退後、新人戦での他校との合同チーム）
 下段：部員数（3年生を含む）（単位：人）

(3) 学校の校舎と敷地

(単位：㎡)

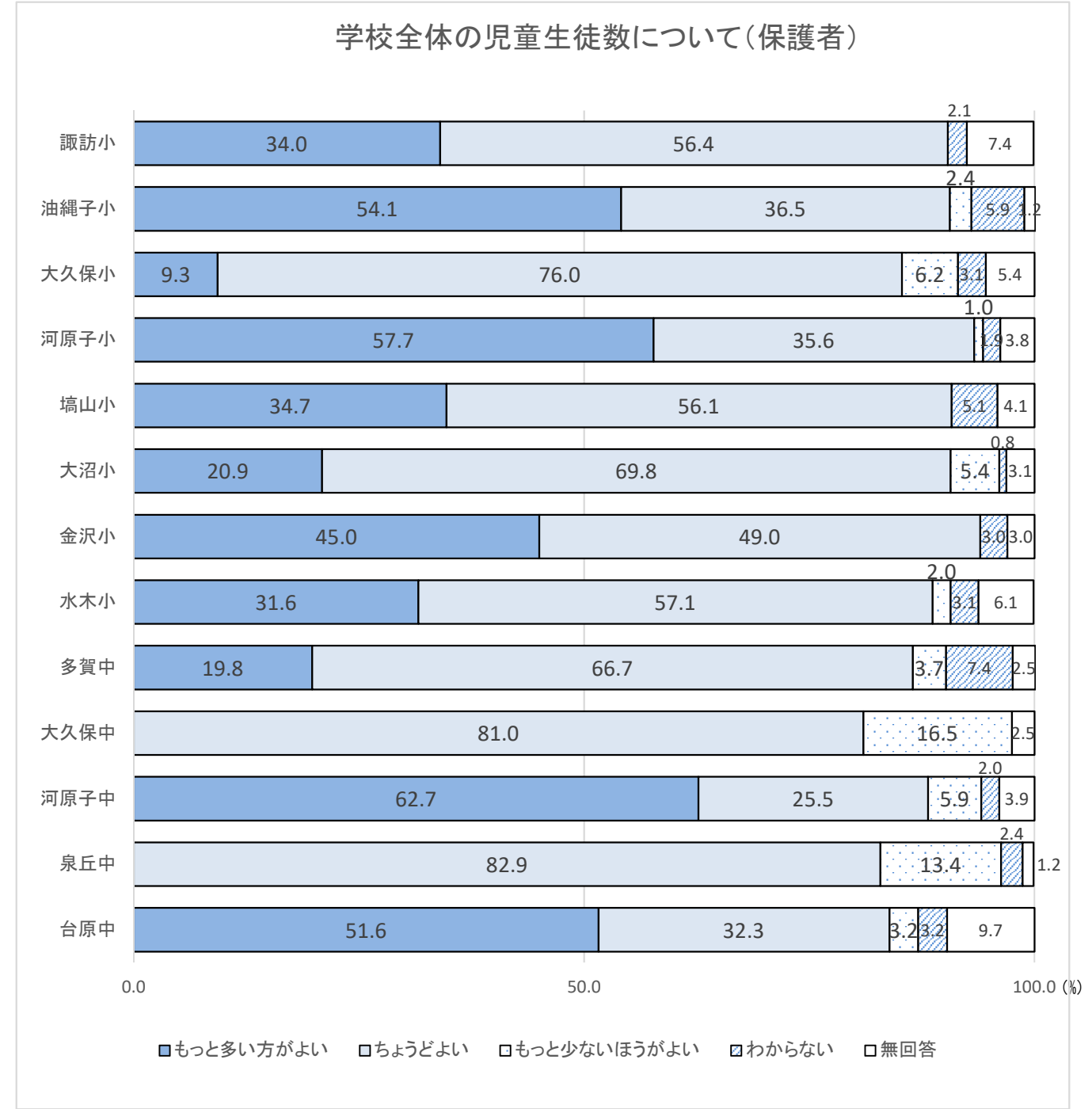
	建築年月	校舎	体育館	敷地	左のうち 運動場
諏訪小	H28. 11	5, 245	711	30, 832	11, 227
油縄子小	H27. 3	4, 644	751	24, 110	11, 390
大久保小	S50. 9 S51. 9	6, 839	908	23, 875	9, 666
河原子小	S44. 3 S51. 12 S56. 3	4, 432	792	15, 470	8, 372
塙山小	S53. 12	5, 368	790	20, 379	10, 368
大沼小	S49. 3 S50. 7 S54. 3	7, 287	867	36, 396	21, 418
金沢小	S46. 3 S48. 11	5, 276	752	24, 172	6, 788
水木小	H26. 3	5, 701	775	17, 872	6, 996
多賀中	S49. 3 S54. 3 S60. 3	7, 710	1, 418	31, 096	19, 265
大久保中	H23. 3	7, 062	1, 326	21, 880	10, 793
河原子中	S43. 3 S45. 2 S58. 6	4, 521	1, 526	24, 658	9, 952
泉丘中	H12. 10	6, 612	1, 317	35, 807	15, 399
台原中	S55. 2	6, 741	1, 176	29, 221	13, 217

(4) 未就学児の居住状況(単位：人)

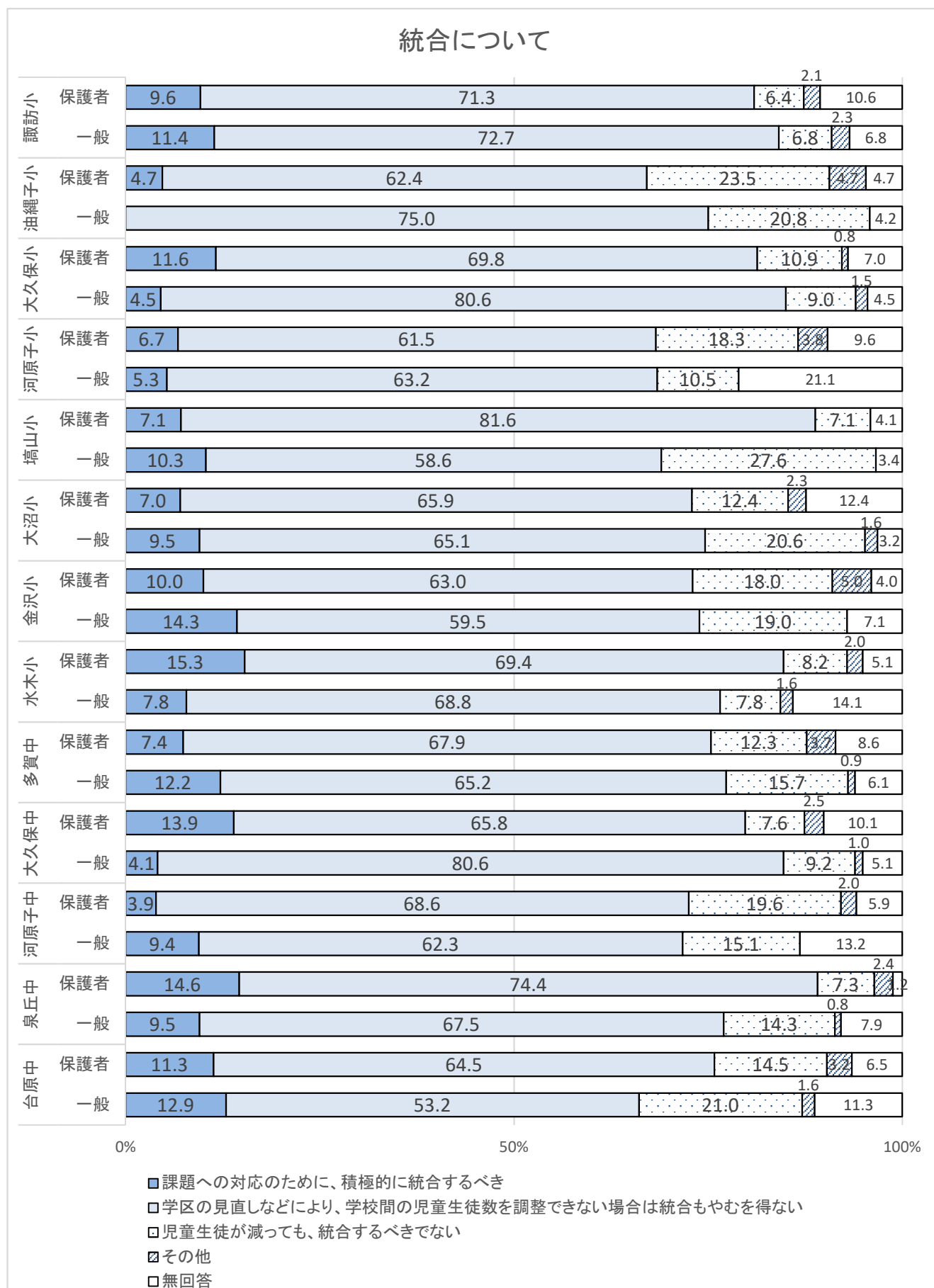
年齢	入学 年度	小学校区							
		諏訪小	油縄子小	大久保小	河原子小	塙山小	大沼小	金沢小	水木小
0	36	22	25	50	33	57	83	24	43
1	35	40	38	49	34	30	88	31	50
2	34	35	36	58	32	38	99	39	60
3	33	39	37	62	34	44	88	39	60
4	32	37	32	75	32	47	83	39	57
5	31	52	44	65	31	50	91	33	61
2024(H36) 計	児童数	225	212	359	196	266	532	205	331
	学級数	8	8	12	6	10	18	6	12
H30年度比		△22%	14%	△32%	△1%	△18%	5%	△31%	△19%

(5) 地域の意見
ア アンケートの結果

問 あなたの世帯のお子さんが通学している学校の児童生徒数については、どのように感じていますか。



問 小中学校の小規模化への対応として、子どもたちの学習環境を整えるため学校の統合を進めている自治体があります。このような対応についてどのように考えますか。



イ 保護者懇談会での意見

①再編について

- ・通学時の安全確保や先生への配慮など課題はあるが、統合しないと学校の維持ができないと思う。（水木小学区）
- ・クラス替えができたほうがよいし、保護者の関係も変わるほうがよい。合わないお母さんと6年間、我慢して付き合うのは厳しい。（大久保小学区）
- ・塙山小から河原子中に来る人は数人しかいない。中学校区の見直しを考えてほしい。（塙山小学区）
- ・統合ということになった場合、廃校になったままでは治安が悪くなり、地域のイメージも悪くなる。この辺りは公園がなく、小さい子どもを遊ばせる場所がない。跡地の活用も考えてほしい。（河原子小学区）

②通学について

- ・統合を考えたらスクールバスが浮かんた。この地区はBRTが利用できる。しかし、スクールバスだと放課後に遊ぶことができない。（大沼小学区）
- ・小さい子どもが周囲にいない。通学路には山間の道路が含まれる。子どもの数が減って、一人で通うことになったら、女の子なので不安がある。（諏訪小学区）
- ・みかの原辺りから水木小に通っている子たちは、帰る途中でトイレが間に合わなくなったりする。統合になって、遠くなってしまうのはかわいそうだと思う。将来的にはスクールバスを出してもらいたい。（塙山小学区）

③スケジュールについて

- ・10年間とは、10年の間に計画を作るのか、10年の間にスタートするというのか。（油縄子小学区）

④その他

- ・計画を来年あたりに決めるとなると、人口減少はどのくらいを見据えているのか。学区によって減り具合も違うのではないか。再編しても、数年後には基準を満たさなくなることも考えられる。新しく団地ができるところなど、見えている所はあるのか。（大沼小学区）
- ・1学級だが、他学年との交流があり、良かったと思う。（河原子小学区）
- ・人数を増やすイメージが大事だと思う。学区の境にいる人に1人か2人来てもらっただけで2学級になる。このままでは、目指す学校規模から離れてしまい、人が減ることが目に見えている。若い人がいなくなったら地域として変わってしまう。スクールバスがあれば遠いところからも来てもらえる。人数が多すぎて問題が起こることもあると思う。多い所から振り分けてほしい。（金沢小学区）
- ・中学での部活動は子どもにとって重要で、高校につながることでもある。通学の課題もあるが、人数はいたほうがよい。自分の子どもがよければいいということではない。学校間に格差があるのはかわいそう。住んでいる所は子どものせいではない。（大久保小学区）
- ・生徒が少ないから関われると思いきや、（人数の多い学校と）仕事は変わらないので生徒と向き合う余裕がない。子どもが少なくても学校の行事は変わらないし、地域との関りも変わりない。子どもが少なれば教員も少ないので、余計に大変。先生数が少ないと、配慮を要する子に先生の手が取られてしまったり、担任の先生と馬が合わない子の居場所も作れない。多様な学びに対応していかなければならない。（大久保小学区）

・河原子小は子どもが少ない。こんなに少ないなら、どこかと統合して友達がいっぱいいるほうが嬉しいという声もよく聞く。家から近いことも大事だし、高齢者の拠点となることも大事だが、自分の子どもが通っていると、友達が多いほうが良いと思っている人もいます。大沼小は泉丘中と河原子中に分かれるが、学区的に河原子中に行く子が少ない。河原子中は部活が少ないので泉丘中を選ぶ意見もよく聞くし、親は河原子中に行かせたくても子どもに押し切られたということも聞く。6年生になれば自分の意思もある。子どもの中にも、少ない所よりは多い所に行きたいという子もいるだろうし、少ないほうが良いという子もいる。一概にどちらとは言えないところが難しいと思う。(大沼小学区)

ウ 地域懇談会での意見

①再編について

・小学校から同じ中学へ通う友達がすごく少ない。部活動も少なく入りたい部活動が無くなってしまったりした。100m先に住んでいる友達は部活動のために違う中学へ進んでしまった。実家に住んでいるので、自分の子どもも同じ思いをするのだと思うと心配。学区境なので、大きな中学へ行けるなら、そちらへ行きたい。(塙山小学区)

・検討委員会の議事録を読んでいると、小さい学校の良いところについての意見もいろいろ出されているが、“基準以下の学校は統廃合”という流れになりそうで不安だ。(河原子小学区)

・他市町村の例では、大人が反対し、卒業生が母校を無くすなど反対することが統合の妨げになることが問題。学校は地域のシンボルではあるが、基本は子どもたちのためのものである。(成沢小学区)

・学校が無くなる話になると、コミュニティが無くなるから困るというが、子どもたちを先に考えてほしい。子どもたちがどうすれば良い学校生活を送れるかを考えていくことが、我々の世代(大人)の責任だと思う。若い世代を大切にしなければならない。(金沢小学区)

②通学について

・宿題が多い。適正配置を進めていくと、これまでよりも通学時間がかかるようになる。学力が落ちない程度に宿題を減らしてほしい。友達と遊ぶ時間もなくなる。(油縄子小学区)

・日立市は南北で長く坂も多い。統合すると地域が広くなる。通学するための公共交通機関については、どのような検討をしているのか。路線や便数を増やすなど、バス会社などに働きかけをするのか。(水木小学区)

・台原中が統合となった場合、大久保中か泉丘中となると思うが、スクールバスを出していただくことはできるか。(金沢小学区)

③スケジュールについて

・目安が3年なのか5年なのか、見通しを立ててあげないと、小さい子どもの保護者は心配だろう。ある程度の期間を示すべきではないか。(油縄子小学区)

④その他

・スケジュールがタイトで予定どおりには進まないと思うし、学区によっては問題も多く、地域も廃れると思う。しかし、進行する少子化についての認識は共有できる。人が少なくなると統合というのは、強行するべきではない。(河原子小学区)

・コミュニティ組織の在り方は、学校とは切り離して考えなければいけないと思っている。(金沢小学区)

・地域には、コミュニティや地区社協など小学校を単位としたいろいろな組織がある。それらをどうするかを並行して考えていかなければならないと思う。進め方について情報提供してほしい。(大久保小学区)

4 基本方針から見た多賀支所管内の学校数（20年後推計ベース）

(1) 小学校（最低必要数 236人） 2～5校

1,433人/ 236人 \div 6.1校

1,433人/ 6校 \div 239人 239人/ 6学年 \div 40人（各学年1学級 1学級40人）

1,433人/ 5校 \div 287人 287人/ 6学年 \div 48人（各学年2学級 1学級24人）

1,433人/ 4校 \div 358人 358人/ 6学年 \div 60人（各学年2学級 1学級30人）

1,433人/ 3校 \div 478人 478人/ 6学年 \div 80人（各学年2学級 1学級40人）

1,433人/ 2校 \div 717人 717人/ 6学年 \div 120人（各学年4学級 1学級30人）

(2) 中学校（最低必要数 243人） 2～3校

933人/ 243人 \div 3.8校

933人/ 3校 \div 311人 311人/ 3学年 \div 104人（各学年3学級 1学級35人）

933人/ 2校 \div 467人 467人/ 3学年 \div 156人（各学年5学級 1学級31人）

(3) 学級編制（平成30年度 茨城県）

ア 小学校

（単位：人）

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
1学級の上限	35	35	40	40	40	40	
学年2学級の 必要数	36	36	41	41	41	41	236

イ 中学校

（単位：人）

	1学年	2学年	3学年	計
1学級の上限	40	40	40	
学年3学級の 必要数	81	81	81	243